

パナソニック
松愛会

西中国支部 会報



支部全体 201人 (7月1日現在) 発行者 高木信行 編集 村上邦忠

広島東部支部役員の宇田です。今年は、梅雨の期間も晴れ間が多く、全国で猛暑日を記録するなど季節外れの暑さとなりました。これに伴い、熱中症で搬送される人が相次いだようです。

熱中症は真夏に多いイメージがありますが、実際には5月や6月でも発症する人は多いようです。湿度が高いと汗が蒸発しにくくなり、体温の調整が難しくなるためだそうです。

近年は国内で年間約9万人が熱中症で搬送され、1,000人以上が亡くなっているそうです。

亡くなる人の多くは70~80代の高齢者で、まさに私たちの年代です。

予防のためには、こまめに水分を摂取し昼からでもエアコンを十分に活用することが原則と、特に最近言われ続けています。

今年は6月27日に気象庁から、近畿・中国・四国・九州北部・九州南部が梅雨明けしたと“みられる”と発表がありました。中国地方では、平年より22日、昨年より24日早い梅雨明けでした。ただ、今回の気象庁の発表は速報値で、確定は9月だそうです。

2022年も、速報値では近畿、中四国などで6月27~28日に梅雨明けしたとみられるとして「統計開始以降最も早い」と発表したが、9月の確定値では7月末が梅雨明けだったと修正したそうです。

さて今年はどうなるのでしょうか。いずれにせよ、気温の高い日が続く見込みで、35度以上の猛暑日も予想されています。水分を十分に摂取しエアコンの活用を心がけましょう。

2021年4月から、熱中症警戒アラートの発表が始まりました。2024年4月からは1ランク厳しい熱中症特別警戒アラートの発表も始まっています。

2021年から現在までの熱中症警戒アラートの発表状況です。

2025年 7月7日現在	発表回数(回)			最速発表日(月/日)		
	全国	広島県	山口県	全国	広島県	山口県
2021年	613	21	7	5/11	7/12	7/20
2022年	889	26	17	5/29	6/30	7/26
2023年	1,232	30	19	5/17	7/16	7/24
2024年	1,722	47	39	5/23	7/6	7/6
2025年	241	10	6	5/21	6/27	6/29



宇田支部役員

※特別警戒アラートについては、2024年、2025年7月7日現在発表されていません。

熱中症警戒アラートの発表回数は、年を追うごとにすごい勢いで増えてきています。こまめな休息や水分補給・塩分補給を行い、昼からでもエアコンを活用して涼しい環境で過ごす等の熱中症予防行動の実践が大切です。また、自分の身を守るためだけでなく、自分の周りの人の命を守ることも大切であり周囲の方々への声掛けも必要です。

以上



友 愛 訪 問

7月	広島西部	住本 高志 さん (米寿)	88歳
		鳥越 守 さん	80歳
8月	広島西部	田中 昭次 さん	91歳
		増野 俊之 さん	80歳
		香川 和雄 さん	80歳
	広島東部	渡邊 元治 さん	90歳
		市川 道樹 さん (米寿)	88歳

会報発行月が変更となつたため
7月の方の掲載がズレました。

9月	広島西部	宮地 秋義 さん	95歳
		福島 怡肖 さん	84歳
10月	山口	山本 勝人 さん	80歳
		横谷 勇三 さん	86歳
10月	広島西部	永易 雄介 さん	85歳
		金森 秀夫 さん	93歳
	山口	矢原 邦俊 さん	84歳
		河上 英二 さん	80歳
		下村 誠 さん	80歳

ご長寿おめでとうございます

7月	広島西部	宮本 和司 さん	喜寿
8月	山口	石井 豊 さん	喜寿
		佐々木 良夫 さん	古希
10月	広島西部	清水 克實 さん	喜寿

9月	広島西部	永見 英弘 さん	喜寿
		秋重 一豊 さん	喜寿
		中村 豊美 さん	喜寿
		浮田 真佐雄 さん	喜寿
		中島 和夫 さん	喜寿

転入された方のご紹介 热烈歓迎！

お名前 (転入)	三好 力 (みよし つとむ)さん 57歳	
お住まい	広島県 福山市	
主な事業場	システム営業本部、PSS社、パナソニックコネクト 東京、横浜、福岡、大阪	
趣味	旅行	
お名前 (転入)	東 利明 (ひがし としあき)さん 60歳	
お住まい	広島県 福山市	
主な事業場	本社情報部門、システム部門 Pコネクト・Pオペレーションエクセレンス Pソリューションテクノロジー (出向)	
趣味	旅行 歴史	
お名前 (転入)	熊 繁昭 (くま しげあき)さん 66歳	
お住まい	広島県 広島市西区	
主な事業場	松下通信工業、オーディオ事業部、松下情報システム、 PSS、PSSJ、AP社 横浜→門真→東京→広島→福岡 →門真・OBP→草津	
趣味	鉄道、野球・蹴球・相撲観戦、日本酒	

『西中国支部創立 40 周年の歩み』 冊子作製に関するお願い

年末完成を目指して『西中国支部創立 40 周年の歩み』の冊子を作成したいと思いますが、過去の一貫した記録が残っておらず、諸先輩方に教えていただきながら取りあえず A4 サイズで一覧表を作成してみました。

支部ホームページ メインメニュー→支部活動→遠隔のページに PDF を掲載していますのでご確認いただき、誤りや追加するべき事等がありましたら高木支部長又は村上副支部長までご連絡をお願いします。



高木支部長 n.takaki6825@hi3.enjoy.ne.jp 090-4655-3952

村上副支部長 maido1@do9.enjoy.ne.jp 090-73747721

西中国支部 2025 年 年次報告会

5月25日(日)11時から29人+来賓5人が参加し、広島市文化交流会館で行われました。

まずは昨年度お亡くなりになった4人の御靈に対し黙とうを捧げ、会議がスタート。

高木支部長から昨年度の活動報告と本年度の活動方針の説明があり、本部の稻垣副会長からご挨拶をいただき、会議は終了しました。

懇親会に先立ちアトラクションとして、プロのオペラ歌手を中心とした「アンサンブル・ルナ」5人により、支部長からのリクエストによる「明るいナショナル」をはじめ、皆さんが良く知っている曲の演奏が約30分間行われました。



ご来賓のパナソニックグループ中国地域代表 武田支店長・パナソニックホームズ常盤所長・PHP 広島松下幸之助経営研 橋本理事の3人からご挨拶をいただき、稻垣副会長による乾杯の音頭で懇親会が開始されました。

テーブルや席の位置を工夫しみなさんの話が聞こえやすいような配慮がありました。

5月に転入された熊繁昭さんが紹介もありました。

本年は西中国支部の創立40周年にあたりため、高木支部長からプロジェクターを使用し概略の歴史を説明があり、歴代の支部長船橋元支部長・坂井元支部長・大林元支部長から思い出話ををしていただきました。



終盤にはカラオケ同好会のメンバーを中心 に恒例の『ああ人生に涙あり』を全員で歌い、中井三郎さんによる『関東一丁締め』で中締めとなりました。会場出口では樽募金が行われ、18,000円が集まりました。



ホームページでは当日の内容を詳しく・写真も多く掲載していますのでご覧ください。

※メインメニュー⇒支部活動⇒支部年次報告会⇒とお進みください。個人認証登録が必要です。

又、今回初めての試みとして、当日の高木支部長・稻垣副会長のお話し・アトラクションを動画として見ていただけるURLをホームページに掲載していますのでご覧ください。

※今回の動画に登場する全員から掲載の承諾を得ています。

以上

広島東部地区 年次報告会+歓迎会

6月28日(土)広島東部地区にて支部年次報告会の報告と転入会員:東利明さんの歓迎会を福山の割烹「川長」にて行いました。

当日は転入された東さんを含め9人の参加があり、賑やかな歓迎・懇親の場となりました。まず東さん自己紹介の後、参加者の皆さんも一言ずつ近況などを話し、話題は近頃の在宅勤務事情、健康のこと、病気病院の最新情報など、皆さん思い思いにお話されました。今回の参加者は畠で野菜を作つておられる方が多く、夏場の野菜作りは草との戦いであること、昨今はいたち系、いのししなどの害獣に悩まされていること、嫌いな匂いで害獣を撃退する方法などについても、あれやこれやと情報交換し、放棄地になっている畠の現状、対応についても話が及んでいました。

参加者のひとり渡邊さんからは、10歳の時に経験した福山空襲について、また戦時中の学校



での教育勅語の暗唱など貴重なお話を聞くことができ、終戦から80年の節目の年に、広島にルーツを持つ者として、改めて平和の尊さを考える機会にもなりました。

また皆さん、趣味やボランティアなど地域で頼りにされている様子も聞け、次回また元気でお会いしましょうとなりました。

社会貢献活動

全国一斉水質調査 + 広島市主催 ごみゼロ・クリーンキャンペーン

○6月7日8日にて『全国水質環境マップ実行委員会』が行う全国一斉の水質調査に賛同し、広島・山口県内の主要河川での水質調査



- ・広島 / 八幡川・太田川・古川・芦田川
- ・山口 / 楢野川・柳井川 の水質調査を行いました。

概ね昨年同様の結果でした。

○6月8日(日)広島市が主催する『ゴミゼロ・クリーンキャンペーン』に参加しました。

今回は支部役員と有志とそのご家族 12 人で、新しくできたサッカースタジアム『エディオンピースティング広島』の周辺を約一時間程度歩いてのゴミを集めました。

しかし、この会場が完成して1年4ヶ月という事もあり、あまりごみはありませんでした。

『今後は別の社会貢献活動を模索した方が良いのではないか』の意見が出ました。

